

番号	1-3-2	表題	固結した火山灰等を下水道管から除去する技術及び能登半島支援の中長期派遣を終えて	
内容	<p>これまで、当局では火山灰や土砂により閉塞した下水道管の復旧技術の確立を目的に、火山灰等の撤去や搬出技術の試行試験を行ってきた。今回、結果を得られたので報告する。また、能登半島地震における中長期派遣を終え、現地の応急復旧活動について報告する。火山灰等の撤去搬出について、既存技術の改良・転用、洗浄水を使用しない、又は使用量が少ないこと及び火山灰等が固結した状態に対応できる技術を、施設別に選定した。</p> <p>①本管については、既設人孔取付部耐震化工法を選定した。機器にオーガを装着し、管内に挿入して回転、土砂がほぐれ、搬出される様子を確認した。</p> <p>②取付管については、超高速回転クリーナー工法を選定した。機器先端でドリルとチェーンが回転して、管内の土砂をほぐし、機器がスムーズに進むことを確認した。</p> <p>③人孔については、水中スクラッチャー工法を選定した。スクラッチャーのバケットで人孔内の土砂をすくい上げ撤去することが可能であり、足掛金物を避けつつ施工出来ることを確認した。</p>			
キーワード	降灰対策、灰除去、能登半島地震			
処理区名	—	位置区分	—	
職種区分	土木	施策区分	震災復旧、降灰対策	
状態区分		新規性	新規知見あり	
実施年度	令和5年度	全体期間	令和6年度	
担当部署	計画調整部 技術開発課 技術開発担当			
発表履歴	局内	令和6年度設計・工事事例発表会（カワセミ）		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				